

論文が書けない！  
研究が進まない！



今回は**100篇超の論文**を  
出版している**Rachel先生**に  
**研究の生産性を高める方法**に  
ついてお話しいただきます。



大学院生とポスドクの皆さまの参加  
を歓迎します！

# Interruption Driven Academia: Staying afloat and on task

講師

## Rachel Rodgers Ph.D

英国出身。Body Imageや食行動の研究では、世界的に認められている**トップクラスの研究者**です。

2009年、フランスのToulouse大学大学院で学位取得。その後、**フルブライト奨学金**でポスドクを1年間経験し、現在はアメリカのNortheastern大学の准教授です。

**学位取得後わずか10年間で100篇以上の論文**や本を出版、**学術雑誌の編集委員**も務められています。

日本学術振興会  
外国人招へい研究者



日時

2019年10月24日(木) 12:10~13:10

場所

生活科学部本館1階 135室  
カンファレンスルーム

使用言語：英語 通訳はありません

内容

Increasingly academics face numerous competing demands on their time, across areas of teaching, service, and research. This talk will provide an occasion for the speaker and audience to share suggestions and tips for pursuing a research agenda and maintaining productivity.

司会

大森美香(本学教授)

参加

直接会場にお越しください。

問い合わせ 人間発達教育科学研究所 <info-iehd@cc.ocha.ac.jp>

本講演会は、日本学術振興会外国人研究者招へい事業の助成により行われます。

